

## 令和元年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和2年3月23日  
札幌市立新陵中学校

### 1 学校経営の方針

認め合い 学び合い 高め合い を育む教育活動を目指して

### 2 学校経営の重点

- (1) 「学ぶ力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する教育課程の編成と教育活動の展開
- (2) 課題探究的な学習を取り入れた、分かる・できる・楽しい「授業づくり」の充実
- (3) 共感的な生徒理解と、場面に応じた積極かつ効果的な生徒指導の推進
- (4) 一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の推進
- (5) 生徒の自主性や自立性、他者への思いやり、自己有用感を高める生徒会活動の展開
- (6) 保護者、関係諸学校、地域社会との連携協力を基盤とした、相互の信頼関係の構築
- (7) 互いに信頼し合い、チームとして共通の理念に向かう同僚性の高い教員集団づくり
- (8) 日常的な研鑽、互いの切磋琢磨による、資質の向上と専門性の深化

### 3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学 校 経 営 ・ 教 育 課 程	(1)本年度の学校経営方針「認め合い 学び合い 高め合い を育む教育活動を目指して」の達成に向け具現化を図る方策を立てて教育活動を進めている。	A	保護者と生徒アンケートでは共に90%を超えているが、学校教育全般において満遍なく進めていくと共に、PDCAの検証改善サイクルを確立させ、より効果的な活動へ充実させる。	A	A
	(2)「学ぶ力」育成プログラムに基づき、「学ぶ意欲」「学んだ力」「活かす力」をバランスよく育てている。	A	生徒の実態を適切に把握した上で、研修と共通理解を深めることで効果的な指導方法、授業づくりに継続して取り組むと共に、家庭や地域と連携した取組を推進する。		
	(3)「健やかな体」育成プログラムに基づき、体力・運動能力の向上、食育や健康に関する指導を行っている。	A	教科、給食、保健室、学校図書館などそれぞれにおける特色ある活動の推進と効果的な連携に引き続き努める。		
	(4)学校の教育活動全体を通じて、命や心を大切に育てる教育を大切に、豊かな心や感じる心を育てている。	A	道徳科を要とし、体験活動や奉仕活動、子どもが主体となるいじめ防止の取組を推進すると共に、SCとの連携や相談しやすい環境づくりを充実させる。		
	(5)情報モラル教育や防災教育、防犯教育など、自他の安全を守り、事故の未然防止に向けた指導を行っている。	A	関係機関と連携した取組の充実や実際の場面を想定した訓練の工夫、家庭や地域との連携の推進などに努める。		
<p><b>【学校関係者評価委員による意見】</b> 子どもたちが健やかに育っていると感じます。各教室の授業の様子を見ても、どの学級もとても落ち着いて学習していました。先生方の日々の努力が、生徒一人一人に伝わると信じております。</p>					

学 習 指 導	(6)学習の過程を重視し、課題探究的な学習、少人数指導など、指導方法等の充実と改善を行っている。	B	知識や技能の習得や定着にあたって、その過程を工夫すると共に、生きて働く力となるよう、効果的な指導方法や授業づくりに、より一層取り組む。	A	A
	(7)「指導と評価の一体化」を意識し、計画に基づいた信頼性と妥当性のある適切な評価を行っている。	A	さらに研修を深め、教科の枠を超えた評価方法の共通理解を図ると共に、生徒への適切なフィードバックを行う。		
	(8)家庭での学習につながる指導の工夫と改善を図り、自ら学ぶ習慣づくりを推進している。	B	家庭での学習につながる指導の工夫改善に、より一層努めると共に、学校と家庭が一体となった習慣づくりを推進する。また、校区内小学校との連携や地域人材の活用などを進める。		
【学校関係者評価委員による意見】 家庭学習や基本的な生活習慣づくりを推進するために、地域の人材の活用に積極的に協力していきたい。					
生 徒 指 導	(9)生徒のよさに着目し、よさを伸ばすことにより、自己肯定感や自己有用感を高めている。	A	確かな生徒理解と生徒観察のもと、情報共有を密にし、共感的・肯定的な声かけを中心とした取組を教職員全体で行う。	A	A
	(10)挨拶や返事、時間の厳守などの基本的な生活習慣の確立を促し、厳しさの中にも共感的理解と温かさのある指導を行っている。	A	指導だけでなく、価値や意義を子ども自身が理解し実践に向かうような取組を生徒会活動や委員会活動などを通して推進する。		
	(11)教育相談週間やアンケート結果などを活用して、生徒の思いをしっかりとらえ、相談活動や次の支援につなげている。	A	定期的な学校独自のアンケートなども活用し、きめ細かな生徒理解に努めると共に、SCとも連携し相談しやすい環境づくりに取り組む。		
	(12)いじめの防止、早期発見、対処に組織的に取り組んでいる。	A	いじめに向かわない学校風土の醸成、アンケート等の活用による教育相談活動、子どもが主体となるいじめ防止の取組などを推進する。	A	A
	(13)不登校傾向の生徒に対し、状況の改善に向けて組織的に取り組んでいる。	A	心の居場所となる学校・学級づくりを進めると共に、養護教諭・SC・相談支援パートナー・関係機関などと連携した組織的な支援を行う。		
【学校関係者評価委員による意見】 学校を訪問した時に受けた生徒の挨拶には、とても好感をもちました。子どもの居場所をつくるために、一人一人の個性を大切に、不登校の生徒が1人でも少なくなるような粘り強いかわりを、これからも期待しています。					
特 別 支 援 教 育	(14)支援を必要とする子どもに対して、実態把握と共通理解に基づいたきめ細かな支援を行っている。	A	校内学びの支援委員会のもと、確かなアセスメントと綿密な情報共有を行い、個々の実態を踏まえた指導内容や指導方法の工夫に取り組む。	A	A
	(15)特別支援学級の生徒と通常の学級の生徒の交流及び共同学習を組織的、計画的、継続的に行っている。	A	教員間の共通理解と連携による指導体制の整備や子どもたちの意識の向上も含めた環境づくりに努め、個々の実態に応じた取組の充実に努める。		
【学校関係者評価委員による意見】 授業参観では、特別支援学級の生徒も生き生きと学習している様子が伝わってきました。児童会館などでも、特別支援学級の生徒と通常学級の生徒と一緒に活動する姿を見かけ、共同学習の効果を感じています。今後も、子どもたちの自己肯定感を高めるために、学習のみならず生活面の指導にも目を向けてほしいと思います。					

特別活動・道徳・総合的な学習	(16) 学年、学校行事への取組の中で、互いに認め合い、助け合い、高め合う集団づくりを行っている。	A	目的意識を明確にし、互いの良さを発見し伝え合う活動、支え合う活動の工夫と充実に取り組む。	A	A
	(17) 自主的・自立的な活動を促しながら、リーダーとその活動を支えるフォロワーを育成している。	A	子どもの願いや考えを尊重した学級の係活動、委員会や生徒会活動の工夫と充実に取り組む。		
	(18) 道徳では、年間指導計画に基づき、学年・学校体制で共通理解を図りながら授業づくりに取り組んでいる。	A	全校で取り組んできた校内研修で積み上げた成果を活かし、考え・議論する道徳の充実に努めると共に、授業公開などにより学校の取組を発信する。		
	(19) 道徳では、主体的に考え、他者と交流する授業を通して、道徳的判断力や心情、実践意欲と態度を育てている。	A	実践交流や検証などを通して、引き続き授業の工夫と改善に努めると共に、子どもの状況を適切に見取り、良さを伝えることで成長を促していく。		
	(20) 「総合的な学習の時間」では、育てたい力を明確にしなが、創意工夫を活かして取り組んでいる。	A	探求課題とその解決を通して、育成を目指す具体的な資質・能力についても改めて見直しを行い、学習内容、指導方法の充実に取り組む。		
<p><b>【学校関係者評価委員による意見】</b>          特別活動などで、生徒の自主、自立の心が育っていると感じています。中学生が、児童会館で週2回の居場所づくり事業「ふりーたいむ」に来館して活動している姿が見られ、放課後の時間を有意義に過ごしていると感じます。互いに認め合える仲間づくりを大切にすることによって、必ず一人一人が自信をつけていけると思います。</p>					
開かれた学校・その他	(21) 関係教職員、部、外部機関などと連携をとり、保護者の相談に応じている。	A	校内の情報共有を密にし、必要に応じて外部機関との連携を図りながら丁寧に対応する。	A	A
	(22) 学校便り、各種便り、学校HPなどで学校の考えや取組を伝えている。	A	見やすさ、わかりやすさをさらに工夫すると共に、タイムリーな情報提供を行う。		
	(23) 地域とつながり、地域とともに子どもを育む活動を工夫している。	A	地域人材の活用や子ども自身が地域とのつながりを実感できるような取組を工夫する。		
	(24) 小中連携活動を充実させ、小から中へのスムーズな移行に取り組んでいる。	A	育てたい子どもの姿や身につけさせたい資質・能力などの交流から、共有・実践へと進めていく。		
	(25) 互いに声を掛け合い、教職員間の連動を意識した業務推進を行っている。	A	業務内容の見直しなども含め、ゆとりある職場環境づくりにも努める。		
	(26) 専門性を高め、資質向上を図る日常的な研修を行っている。	B	研修できる時間を生み出すよう努める一方、短時間でも取り組める研修の仕方を工夫すると共に、内容面での充実を図る。		
	(27) 施設・設備の状況を把握して、安全な管理体制の整備を行っている。	A	毎月の「安全衛生の日」による定期的な点検と整備を着実にを行う。		
<p><b>【学校関係者評価委員による意見】</b>          小学校の学校行事に伺った際に、中学校の校長先生の姿があり、小中の連携の強さを感じました。「みんな違ってみんないい」(相田みつを)と言われるように、一人一人の個性を認め合える学校であってほしいと思います。新陵地区の子どもたちのために、地域の連携の輪がさらに広がることを期待しています。          子どもたちは、自分の心地よいと感じる居場所さえあれば、楽しく学校生活を送ることができると思います。今後とも、保護者の理解と協力のもとに、教職員が協力して教育活動に取り組んでいくことを期待しています。</p>					